

プログラムを乗り越えた先に、未来の自分が見えてくる。

	1 国家行政コース	2 地方行政コース	3 警察官コース	4 消防士コース	5 保育職コース	6 小学校教員コース	7 保健体育教員コース	
1年次 姿勢作り	<ul style="list-style-type: none"> ■ FP3級 (20コマ) FP3級試験:9月 	<ul style="list-style-type: none"> ■ FP2級 (60コマ) FP2級試験:1月 	ファイナンシャル・プランナー (FP) FPは、「お金」に関するあらゆる知識を学ぶことができます。「お金」について学ぶことを通じ、自分自身の現在や将来について考えるきっかけにしています。特に「仕事」については、受講生にしっかり考えてもらいたいと思います。しかし、資格を取得することが目的ではありません。資格の取得を目標に取り組み、その結果を受け、半年間の振り返りを最も大切にしています。目標に対して、どのような姿勢で取り組めたのかを受験後に振り返ります。そして、次の目標に向かって反省を活かしていきます。内容的には、税金・金融商品・保険・不動産など幅広い分野を学習します。金融・保険・不動産業界では、就職後に求められるようなメジャーな資格です。公務員・教員志望が定まっていない受講生も自分の進路を探しながら受講することができます。			<ul style="list-style-type: none"> ■ 国語・数学基礎 (16コマ) 		
2年次 習慣作り	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般知能 [数的処理入門・文章入門] (34コマ) ■ 人文・自然・社会科学 (44コマ) ■ 法律入門 (24コマ) ■ 経済学入門 (22コマ) ■ 数的処理 (26コマ) 	数的処理とは？ 数的処理 (数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈) は、ほぼ全ての公務員採用試験で出題され、教養試験全体の3~4割程度を占める重要科目です。重要だからこそ、この分野で点数が取れるようになれば自信もつき、合格の可能性も高まる科目です。合否を左右することから、早めに学習を完了し、過去問を中心とした問題演習の時間を確保するため、早い段階から取り組んでいきます。	文章理解とは？ 文章理解 (現代文・英文・古文) は、大学入試における長文読解です。教養試験全体の2割程度を占める科目で、出題形式は趣旨把握問題や文章整序問題が中心です。問題のレベルは概ね大学入試センター試験レベルです。繰り返しの問題演習で確実に問題を解く力とスピードを身に付ける必要があります。文章を読む力は、採用試験の対策だけでなく、日常的にも必要になるため、頑張りましょう。	法律系科目について 法律系の勉強は高校時代に取り組んでいないため、コマ数をかけて取り組んでいきます。試験種により、最終的な対策の量は異なりますが、選んで通れない科目です。大学の出身学部による有利不利があると云われることもあります。東邦STEPでは科目に関する知識がゼロであることを前提として講座を設計しています。コツコツと学習することで得点源にすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般教養 (40コマ) ■ 教職教養入門 (34コマ) ■ 学習指導要領 (10コマ) 			
3年次 実力養成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般知能 [数的処理・文章] (40コマ) ■ 自然・社会科学 [政治・社会] (10コマ) ■ 論文文対策 (6コマ) ■ 面接対策 (1コマ) 	3年次の特徴 予備校に1年間通う場合は、本来この1年間しかありません。東邦STEPでは、重要なポイントは2年次に取り組み、再び3年次に試験範囲全てを網羅するコマ数を用意しています。苦手な分野は誰にでもありますが、反復することで実力を高めていきます。また、コース共通部分の対策は一緒に取り組み、専門科目はコース別に組み込んでいきます。より多くの仲間と交流しながら切磋琢磨していきましょう。	補習も対応 実習やインターンシップなど正課活動を優先することも時期により発生します。その場合は、Web講座やDVD講座等で補います。全ての講座ではありませんが、苦手な分野の自主勉強や講座活動に出席できない時期のフォローも安心です。自分の時間に合わせて学習できるため、受講生にも好評です。ただし、原則はライブ講座を優先して運営しています。			<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般教養とは？ 教職に関する専門知識が問われる最重要科目です。教育手法や教育関連の法律、学習指導要領等から出題され、自治体によっては教育施策についてのローカル問題も見られます。論文試験や面接試験の基礎知識としても必須の科目です。重要な部分を中心に、2年次と3年次で採用試験対策を2サイクルでできることがプログラムの特徴です。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 憲法 (8コマ) ■ 民法I (20コマ) ■ 民法II (12コマ) ■ 行政法 (36コマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ミクロ経済学I (20コマ) ■ ミクロ経済学II (2コマ) ■ マクロ経済学 (20コマ) ■ 国際関係 (10コマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財政学 (14コマ) ■ 社会政策 (10コマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般知能 (28コマ) ■ 人文科学 (14コマ) ■ 自然科学 (8コマ) ■ 社会政策 (10コマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育専門 (90コマ) 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校全科 (38コマ) ■ 中学校・高等学校保健体育 (20コマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校・高等学校保健体育 (20コマ)
4年次 自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ■ 時事対策 (14コマ) ■ 面接対策 (6コマ) ■ 試験種別対策 (6コマ) 					<ul style="list-style-type: none"> ■ 直前時事 (4コマ) ■ 県別対策 (14コマ) 		

※1コマ:90分 ※カリキュラムは採用試験の内容によって変更することがあります。